

南砺市長

田中 幹夫 様

要 望 書



平成 28 年 11 月

公益社団法人 南砺市シルバー人材センター



H28-074

要 望 書

少子高齢化が進み、労働力人口が減少する中、シルバー人材センターは日常生活に密着した就業機会を提供するなど、高齢者の「居場所と出番」をつくり、「生涯現役社会」の実現に役割を果たす一方、高齢者の生きがいの充実、社会参加の促進を實行し、地域社会の活性化と医療費の削減に寄与しているところです。

本年四月には「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」が改正され、今後、現役社会を支え、また人手不足分野を解消するとともに、急増する高齢者の受け皿として就業機会の確保・拡大を図るため、労働者派遣の働き方において、要件緩和として、都道府県知事が指定する業種・職種について、週四十時間までの就業が可能となりました。

また、六月に閣議決定された「ニッポン一億総活躍プラン」には、保育分野等での高齢者の就業の推進、介護周辺業務や軽易な介護業務に関して積極的に取り組むセンターに、重点的に財政支援を行い、センターを通じた高齢人材を活用することが掲げられています。

シルバー人材センターは、行政刷新会議の「事業仕分け」による国の補助金が大幅に削減されたことから、十分な運営ができない状況

が続いていますが、事務費率や会費を引き上げ、さらに、平成30年度からは、事務所を統廃合して、財政と運営の健全化に努めることと
しています。

また、従来の就業形態を堅持しつつも、「空き家・空き地対策、エコ対策の枝葉堆肥化」を盛り込んだ「地域就業機会・拡大事業」の採
択を受け、さらには、女性部会の立ち上げを待って、介護予防・日常
生活支援総合事業や福祉・家事援助サービス事業など、国や市の施策、
地域ニーズに対応した事業にも取り組むこととしています。

つきましては、平成29年度の事業補助金と公共事業の発注の確
保を強く要望いたします。 地域包括ケア課 長寿介護係

加えて、公共施設再編については、協力していかなければならない
と考えておりますが、これに伴う経常経費増大により、運営ができな
くなることのないよう要望いたします。 行革・施設管理課 行革推進係

平成28年11月28日

公益社団法人 南砺市シルバー人材センター

理事長

長 尾 益 勇

